

第1節 働きがいを感じ、働き方を見つけられるまち

施策
28

雇用機会の拡充 多様な働き方の支援と



施策の目指す姿

市内で就労を希望する人々が勤労の機会を得ることができるとともに、働く人のライフステージや個々のニーズにあった働き方が実現されています。

施策の成果指標

成果指標名		就労支援セミナー・相談会の参加者数
実績値	令和6(2024)年度	630人
目標値	令和12(2030)年度	780人



施策の現状

- 働く人がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するため、生産性や従業員満足度を向上させる環境づくりを支援しています。
- 中小企業・小規模企業で働く勤労者や事業主の福利厚生の充実に向けた活動を支援しています。
- 産業労働センターにおいて、就労に関する相談対応やハローワークと共催での合同就職面接会などを行っているほか、求職者に必要な知識・技能の向上に向けた講座などを開催しています。

施策の課題

- ライフステージや個々のニーズにあった多様な働き方への支援とともに、更なる雇用機会の拡充や人材育成・能力開発の促進が必要です。

主 な と り く み

(1)働きやすい環境や福利厚生の充実

- 事業所における誰もが働きやすい環境の整備を促進するとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現などに向けた情報提供と啓発を図ります。
- 各種福利厚生サービスの提供などにより、中小企業・小規模企業で働く勤労者の福利厚生の充実を図ります。

(2)雇用機会の拡充

- 産業労働センターを中心に、多様なニーズに対応した就職相談や就職支援セミナー、ハローワークとの合同就職面接会などにより、幅広い求職者の雇用機会の拡充を図ります。
- サヤマ・ジョブマーケットなど、企業を知る機会の少ない就職を希望する高校生が、多くの市内企業から直接説明を聞くことのできる場を提供し、雇用機会の拡充を図るとともに、職住近接を促進します。

(3)人材育成・能力開発の促進

- 各種労働講座や技能習得、デジタル人材育成のための講習会などの開催情報を発信します。
- 求職者に必要な知識・技能を向上に向け、リスキングなど社会情勢を捉えた就職支援セミナーなどを開催します。

関連個別計画

第2節 企業・事業者が元気なまち

施策
29

事業者の育成
新たな企業・



施策の目指す姿

企業の立地による産業集積や創業・起業・事業拡大などにより、企業・事業者の活動が活発化し、新たな雇用が創出されています。

施策の成果指標

成果指標名		創業件数(令和6(2024)年度以降の累計)
実績値	令和6(2024)年度	14件
目標値	令和12(2030)年度	134件



写真：創業セミナー

施策の現状

- 首都圏中央連絡自動車道狭山日高インターチェンジ周辺地域などにおいて企業誘致を進め、製造業や流通業などの企業の立地が進んでいます。
- 新たに市内へ進出しようとする企業に対し、立地を促進するとともに、新たな分野の開拓などに取り組む中小企業・小規模事業者・起業家などに対し、各種セミナーの開催や施設提供などによる支援を行っています。

施策の課題

- 一層の産業集積に向け、産業用地の確保とともに、積極的な企業誘致の推進が必要です。
- 中小企業・小規模事業者、起業家などへの創業・起業・事業拡大の支援が必要です。

主なとりくみ

(1) 企業誘致の推進

- 産業用地の確保に向けた土地利用転換の推進や市内への立地を希望する企業に対する相談支援により、積極的な企業誘致を推進します。

(2) 創業・起業・事業拡大の支援

- 狭山市ビジネスサポートセンターを中心に、狭山商工会議所や関係機関と連携し、各種セミナーの開催や施設提供などにより、新たな製品やサービスの研究・開発に取り組む中小企業・小規模事業者、起業家などの育成を図ります。
- 狭山市ビジネスサポートセンターの専門相談員による伴走型のビジネスコンサルティングを通じ、中小企業・小規模事業者の売上拡大や起業家の創業などを支援します。

関連個別計画

第2節 企業・事業者が元気なまち

施策
30

地域産業の支援の充実



施策の目指す姿

中小企業・小規模事業者の経営が安定し、業種間の枠を超えた交流などが進み、地域経済が活性化しています。

施策の成果指標

成果指標名		狭山市ビジネスサポートセンター業務の延べ相談件数(令和元(2019)年度以降の累計)	狭山市ビジネスサポートセンター業務の相談者のリピーター割合
実績値	令和6(2024)年度	8,214件	90.4%
目標値	令和12(2030)年度	16,000件	実績値以上



施策の現状

- 中小企業・小規模事業者に対する国や県の各種支援メニューの利用を促進するため、情報提供などを行っています。
- 中小企業・小規模事業者の経営安定化と発展のため、制度融資の斡旋をはじめ、人材育成や狭山市ビジネスサポートセンターによる経営相談などを行っています。
- 円滑な事業承継を進めるため、関連機関と連携したセミナーの開催や相談対応を行っています。
- 市内での温室効果ガス排出量の半数を占める産業部門の脱炭素化を促進するため、温室効果ガス排出量の削減対策や省エネ、生産性向上に向けた取組を支援しています。

施策の課題

- 中小企業・小規模事業者が抱える課題の解決に必要な支援制度の充実や活用を促進するとともに、産業労働センターを拠点とした交流・連携の場づくりが必要です。

主なとりくみ

(1) 中小企業・小規模事業者の経営安定化支援

- 狭山市ビジネスサポートセンターを中心に、狭山商工会議所や関係機関と連携し、中小企業・小規模事業者への情報提供や経営相談、人材育成、各種融資制度の利用促進などの支援の充実を図ります。
- 中小企業庁などが発信する支援メニューの利用促進に向け、中小企業・小規模事業者が情報を取得しやすい環境づくりを推進します。

(2) 円滑な事業承継への支援

- 狭山市ビジネスサポートセンターを中心に、埼玉県よろず支援拠点[※]や関係機関と連携し、円滑な事業承継に向けた支援の充実を図ります。

(3) 稼ぐ力の強化と脱炭素化の促進

- 中小企業・小規模事業者の生産性向上など、稼ぐ力の強化に向けた支援の充実を図ることと併せて、併せて産業部門の脱炭素化も促進します。

(4) 産業支援機能の強化

- 産業労働センターを中心に、中小企業・小規模事業者が業種間の枠を超え、新たな価値を創造できるよう、異業種間交流などを促進します。

関連個別計画

第3次狭山市環境基本計画

第3節 地域産業を活かした魅力あるまち

施策

31

地域商業の活性化



施策の目指す姿

商店街や商業者への必要な支援策により、
消費が喚起され、地域商業が活性化しています。

施策の成果指標

成果指標名		事業者などの自主的な活動の実施件数
実績値	令和6(2024)年度	13件
目標値	令和12(2030)年度	15件



施策の現状

- 商店街の共同施設維持管理や商店街・商業者が主体となったマルシェなどのイベント活動を支援しています。
- 狭山市ビジネスサポートセンターを中心に、狭山商工会議所と連携し、販路の拡大や新商品の開発、情報発信などの相談対応を通じ、商業者を支援しています。

施策の課題

- 商店街の活性化や商業者への支援の充実を図るとともに、安心して買い物を楽しめる環境づくりが必要です。

主なとりくみ

(1) 商店街の活性化支援

- 地域と連携して取り組んでいる商店街や商業者のイベントなどの活動を支援し、商店街の活性化や販売の創出を図ります。
- 商店街の空き店舗の利活用への支援により、商店街の活性化を図ります。
- 地域の実情に応じた商店街における施設の修繕や整備の支援などにより、安心して買い物を楽しめる環境づくりを促進します。

(2) 商業者の経営支援

- 狭山商工会議所と連携し、商業者に対し、国や県の支援制度や融資・税務などに関する相談などの活用を促進するとともに、新規出店に必要な支援の充実を図ります。
- 狭山市ビジネスサポートセンターを中心に、商業者の抱える様々な経営課題の解決や売上拡大に向けた支援策の充実を図ります。

(3) 大型商業施設などと地域との連携

- 大型商業施設などと地域との連携した取組の推進により、地域商業の持続的な成長を図ります。

関連個別計画

第3節 地域産業を活かした魅力あるまち

施策
32

工業の活性化



施策の目指す姿

工業地域の環境整備や活動への支援により、
企業活動が活発化するとともに、企業の研究開発力などが
向上し、競争力が高まっています。

施策の成果指標

成果指標名		製造品出荷額等
実績値	令和6(2024)年度	13,023億円
目標値	令和12(2030)年度	13,500億円



写真：サヤマ・ジョブマーケット

施策の現状

- 企業活動が円滑に行えるよう、中小企業・小規模事業者が抱えている様々な課題の解決のため、狭山商工会議所や一般社団法人首都圏産業活性化協会の専門相談員による経営支援相談を行っています。
- 高校新卒人材を欲する企業と企業を知る機会の少ない高校生がマッチングする機会を創出するサヤマ・ジョブマーケットを開催しています。

施策の課題

- 工業地域周辺の環境整備に加え、人材や資金の確保など安定した経営の支援とともに、競争力の向上に向けた研究開発などへの支援が必要です。

主なとりくみ

(1)工業地域の環境整備

- 工業会などと連携し、既存の工業地区やその周辺で工業地としての立地条件を備えた地区について、企業活動が円滑に行える環境整備を図ります。

(2)工業活動への支援

- サヤマ・ジョブマーケットなどによる企業PRや人材確保のほか、専門相談員による適切な指導や情報提供、資金的支援など、企業の安定した経営を持続するための支援の充実を図ります。
- 中小企業・小規模事業者の競争力や研究開発力などの向上のため、企業間や産学官の交流を促進します。

関連個別計画

第3節 地域産業を活かした魅力あるまち

施策
33

農業の活性化



施策の目指す姿

農業の担い手の確保や農用地の有効活用などにより、農業経営が安定し、高品質で安全・安心な農産物が供給され、消費が拡大しています。

施策の成果指標

成果指標名		「地域計画 [*] 」における「農業を担う者」に対する市内の農用地の集積率
実績値	令和6(2024)年度	20%
目標値	令和12(2030)年度	38%



施策の現状

- 食育や食の安全に対する意識の高まりにより、安全・安心な農産物や地産地消が求められていることから、有機100倍農業推進事業や環境にやさしい農業推進事業など環境に配慮した農業の取組を支援しています。
- 地場農産物である里芋・枝豆などは、首都圏の市場から高い評価を受けており、農産物に付加価値をつけて販売する取組が行われています。
- 古くからの特産物である狭山茶について、商品開発や各種イベントにおけるPRなどにより、「狭山市産狭山茶」の周知に取り組んでいます。
- 認定農業者[※]を中心に、農用地の利用集積や先進的技術の導入などを含む生産方式、経営管理の合理化を促進しています。
- 農業施設などの整備により生産性の向上や経営の近代化を促進しています。

施策の課題

- 農業の担い手の確保や農用地の有効活用など、農業経営の安定化へ向けた一層の支援が必要です。
- 地場農産物のPRや地産地消の推進など、更なる消費拡大へ向けた取組が必要です。

主なとりくみ

(1)安全・安心な農産物の安定供給の促進

- 国の「みどりの食料システム戦略」などを通じ、農薬や化学肥料の使用を抑える環境負荷低減への取組を促進します。
- JAいるま野が運営する里芋等選果施設を通じ、市の代表的な農産物である里芋などの出荷の省力化と選別作業の高度化により農作業の負担を軽減し、更なる生産力の向上を促進します。

(2)狭山茶のブランド確立と生産の振興

- 狭山市茶業協会と連携し、各種イベントへの参加などにより「狭山市産狭山茶」のPRを推進します。また、狭山茶を使用した商品のPRにより、狭山茶ブランドの一層の確立と消費の拡大を図ります。
- 狭山茶の生産者への支援により、茶の生産性の向上と高品質化を促進します。

(3)農業の担い手の育成・確保

- 県や関係機関と連携した就農希望者への相談支援などにより、農業後継者や新規就農者の育成・確保を図ります。
- 農業用機械やIoT技術を活かしたスマート農業機器の導入支援により、農業の効率化や高品質生産を促進します。

(4)地場農産物の消費拡大

- 各種イベントや市内の農産物直売施設などにおいて安全・安心な地場農産物のPRや地産地消を推進し、消費の拡大を促進します。
- 農業体験などを通じ、農業や農産物をはじめとする自然の恵みの大切さに対する理解の深化を図ります。

(5)農用地の有効活用

- 「地域計画」を活用した農用地の集約化や利用集積などにより効率的な土地利用を促進します。
- 県や関係機関と連携し、効率的な土地利用や担い手の育成、農業経営に意欲的な企業などの農業参入を促進し、遊休農地の解消を図ります。

(6)農業生産基盤などの維持管理

- 土地改良施設などの農業施設について適正な維持管理を図ります。

関連個別計画

狭山農業振興地域整備計画
地域計画

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(農業基本構想)

第3節 地域産業を活かした魅力あるまち

施策
34

観光の推進
地域資源を活用した



施策の目指す姿

観光資源を活用し、観光情報を効果的に発信することで、市の魅力向上が図られ、観光客が増加しています。

施策の成果指標

成果指標名		観光入込客数
実績値	令和6(2024)年 (1月~12月)	2,284,148人
目標値	令和12(2030)年 (1月~12月)	2,430,000人



写真：入間川サイクリングロード

施策の現状

- 観光事業を総合的に推進する狭山市観光協会を支援するとともに、市や観光協会の公式ホームページをはじめ、SNSなどの様々な媒体を活用し、観光情報を発信しています。
- 智光山公園や県営狭山稲荷山公園、入間川などの豊かな自然、毎年8月に開催される狭山市入間川七夕まつりなどのイベント、特産品として名高い狭山茶など、多くの観光資源を活用した賑わいの創出に取り組んでいます。
- 市民の自主的な活動により、観光マップの作成や身近な観光資源をめぐるウォーキングが開催されるなど、新たな視点での狭山の魅力が創出され、市内外へ発信されています。

施策の課題

- 地域資源を活かした新たな観光資源の発掘と効果的な観光情報の発信とともに、既存の観光資源の更なる有効活用が必要です。

主なりくみ

(1)観光資源の発掘・観光情報の発信

- 文化財や豊かな自然などの様々な地域資源が、狭山の魅力につながる新たな観光資源として活用されるよう、狭山市観光協会などと連携した事業を実施するとともに、SNSなどを活用し、効果的に観光情報を発信します。

(2)観光資源の有効活用

- 狭山市入間川七夕まつりは、市民との協働を進め、これまでの伝統を次世代へと継承するとともに、安全・安心な開催と更なる賑わいの創出を図ります。
- 智光山公園の利活用を促進するとともに、入間川にこここテラスを中心とした入間川については、水辺と地域をつなぐ観光資源として、引き続き、更なる交流人口の増加や賑わいの創出を図ります。

関連個別計画

写真：入間川にこここテラス

